

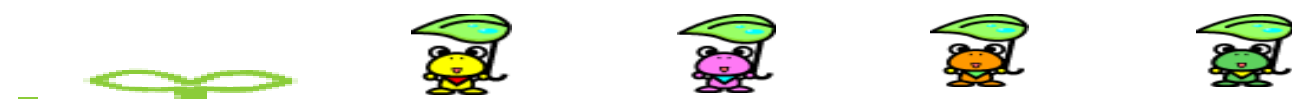
梅雨の季節になりました。やっと暖かくなってきたと思ったら、雨ですね。洗濯物は乾かないし、動物達は外に出たくてウズウズ。早く梅雨があけてくれるといいですね。

今月は老化のサイン第2弾です。

休日にはのんびりじゃれあって過ごす。そんな穏やかな生活の中で、人間が年をとる以上のスピードで愛犬は年をとっていきます。老化に早く気づいてあげて、その変化に応じてお世話の内容を少し変える。これがこれからの老犬生活をすこやかに保つカギ！！

今の状態を知るには、健康診断が必要だということも心にとめておいてくださいね。

病院でも健康診断の予約を受け付けています。詳しくはスタッフにお尋ねください。



行動の変化をチェック！！

いつもの散歩コースで、のんびりくつろぐリビングで、ふとした行動の変化から老化のサインを見つけることも・・・よく観察してみてください。

1. 後ろ足だけ歩幅が狭くなってきた

散歩中など、前足は普通の歩幅なのに、後ろ足の歩幅が狭くなっていたら腰や後ろ足に痛みを感じているサインかも。



2. 呼ばれても反応しないことがある

聴力が衰えてきて音が聞き取れないことも。関心の低下から、面倒になって反応しないこともあります。



3. 物にぶつかるようになった

視力が低下すると物にぶつかることもあります。筋肉の低下や脳神経の異常が原因のことも。



4. 立ったり座ったりに時間がかかる

背骨まわりに痛みがあったり、股関節やひざ関節の曲げ伸ばしが不自由になってきているしるしです。



5. 息が切れる

散歩の途中なら、体力の衰えからきています。安静時にも呼吸が苦しそうなときは、呼吸器系の病気かも。



6. あまり遊ばなくなった

体のどこかに不調があるか、好奇心を失う、無関心になるなどの、心の変化のサインです。



7. 触られるのを嫌がるようになった

気難しくなって、体に触られるのを嫌がるようになります。触られると痛い場合も同様の反応をします。



8. おもらしをするようになった

オシッコのたまった感覚がわからなくなり、排尿をコントロールしにくくなるのは老化のきざしです。



寝たきりになったら・・・

寝たきりになっていくと人間同様に床ずれが出てきます。床ずれをさせないためには、ときどき寝返りをうたせて姿勢を変えることが必要ですが、頻繁な寝返りは大変。

寝床の素材の工夫などで楽な介護を目指しましょう。

床ずれの出やすいところ



その1. やわらかい寝床を準備

手軽に出来るのが梱包材に使われる気泡シートを数枚重ねて、寝床とシーツの間にはさむ方法。寝床がやわらかくなり、皮膚の圧迫を防ぎます。

その2. ときどきは寝返りを

寝返りを打たせるときは一度抱き上げ上半身を起こし、反対側を向かせましょう。寝かせたまま寝返りをさせると、食道にたまっていたものが逆流し、最悪の場合気管に入ってしまうことがあります。
寝返りは必ず一度起こしてから行うようにしましょう。

その3. ドーナツマクラを使ってみよう

患部が穴の部分に来るようにあてて、寝床から浮かせます。圧迫を取り除き血液の流れをよくします。

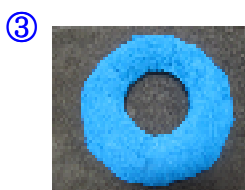
～ドーナツマクラの作り方～

1, 気泡シートをドーナツ状に切ったものを ①

4～5枚用意します。中央の穴は床ずれより若干大きめにあけます。



②, ①を重ねてずれないようにテープで固定し、まわりを粘着性伸縮包帯でクルクルまいていきます。



③, 最後まで巻いたら、包帯をカットしてピタッとくっつけばできあがり！！

手作りなので、床ずれの大きさに合わせて手軽に作り替えられ、ジャストサイズのものがつくれます。



フィラリアの投薬期間に入りました



6月～12月まではフィラリアの投薬期間になります。投薬前には検査が必要です。

検査が済まれている方は忘れずにお薬を取りに来てください。

最後の12月までしっかり予防しましょう。

担当 川久保